

第42回川崎市文化芸術振興会議（摘録）

- 1 会議名 川崎市文化芸術振興会議
- 2 日時 平成28年7月27日（水）午後3時～5時
- 3 場所 市民文化局会議室
- 4 出席者
 - (1) 委員 澤井委員（議長）、垣内委員（副議長）、犬飼委員、岩田委員、小嶋委員、関委員、高田委員、林委員、藤嶋委員
 - (2) 事務局 市民文化局市民文化振興室
中村室長、高橋担当課長、白石担当係長、渡邊主任
- 5 議題
 - (1) 高齢者による音楽イベント事業（プラチナ音楽祭）事業評価について
 - (2) 日本民家園事業評価について
 - (3) 平成28年度文化アセスメント対象事業について
 - (4) その他
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴者 0名

【審議内容】

事務局 委員過半数の出席により、会議が成立した旨を確認。

議題1

澤井議長 続いて、議題1平成27年度文化アセスメントの報告書のうち、高齢者による音楽イベント事業・プラチナ音楽祭について説明をお願いしたい。

事務局 前回の資料から修正した箇所の説明です。

はじめに、議題資料1-1について、(1)事業の目的「設定の妥当性」について、前回は評価「4」としましたが、出演者や鑑賞者の参加の裾野をより広げていくことが求められ、評価「4」は高いという意見があったことから、評価「3」とし、理由にその旨を追記した。

次に、議題資料1-2の評価について、(1)事業の目的で「一方で、観客の前で演奏することや音楽活動自体への参加をためらう高齢者もいるため、より多くの団体や高齢者に働き掛け、出演者や鑑賞者の裾野を広げていく必

るのはどうかと思う。

澤井会長 提言に加わった、「デイケアなど福祉施設の利用者を招待」は、悪いことではないと思うが、必ずしも健康な人ばかりでなく、施設から車の送迎も必要だ。一般の健康な人との関係でどうか。

林委員 ますます普通の人が行きづらくなる

澤井会長 そういう雰囲気になる。元々が福祉事業であるから、いいような気はするが、観客を広げようという意味ではどうか。

林委員 音楽大学生などの企画・運営への参加とあるが、大学生にも演奏もしてもらおう。手伝うだけでなく、自分もできるということでモチベーションも上がる。あらゆる人が win-win になるのが望ましい。

澤井会長 出演団体にレベルの高い合唱団などもある。そういう団体に一般応募枠ではなく、招待して前後に出てもらい、あそこの合唱団なら聞きに行きたいというような、音楽プログラムとしてレベルアップすれば、観客を増やせるのではないか。あまり福祉に収斂してしまうのはどうか。

林委員 逆にお年寄りも行きたくない。

高田委員 元々はもっと簡単な話。ミュージアという舞台があるから使ってもらおう。プロのものだけではない、アリバイ工作のような事業と理解している。

「福祉施設の利用者など」と書いてある。これだけではなく、色々やっていくという例示規定と理解している。元々の目的では、鑑賞者は念頭になかったのでは。高齢者の生きがいづくり、演奏する人も見る人も、若い人もウェルカム、これでいいのでは。文言が気になるが。

垣内副会長 アセスでどこまでやるのか。政策目的そのものについてもやるのか。政策目的に対して実施した内容を評価するのか。政策評価と執行評価とが混乱している。政策評価としてみれば、そもそもプラチナ音楽祭に限定する必要があるのか、という所に帰着する。執行評価としてみると、音楽を通じた多くの高齢者の社会参画を通じて、参加者と来場者の満足度が混ざっているが、84%の高い満足度が得られている。その上で、事業展開として、せっかく事業をするのだから、歌を聴きたいという人もいるだろうし、関係者以外の参加もあってもよいという流れの評価表になると思う。どこまでやるかだと思ふ。

澤井会長 事業目的で「設定の妥当性」があるので、目的について全く触れられないということではない。ただ、政策評価ではないというのは大前提としてある。文化アセスメントは、市の政策評価とは別の次元なので、目的そのものを議論してしまうと、市の政策自体がおかしいということになってしまう。この目的に合致する事業のやり方に力を入れるのがこれまでのやり方だった。

関委員 今年度の新規応募は9団体とのことだが、広がっているのですね。高齢者がミュージアを使って演奏する喜びを広げていくことだと思ふ。観客席で、「今度は自分たちも出てみよう」という会話が聞こえた。川崎区、幸区の応募が少なかったようですが、特定の団体や一部の地域に偏るのではなく、そうい

う輪が広がるのが良い。先日、知り合いの団体が出演すると連絡が入ったが、歌う喜び 仲間と交わる喜びが広がっていけば良い。

岩田委員 この事業としては、このまとめでいいが、今後の課題としては、プラチナ音楽祭以外で一般の人があのステージに上げられるチャンスは考えられるのか、検討されるべきだと思う。また、参加するグループの数が凄く増えているわけではないので、もうちょっと増えていいのでは。広報面かもしれないが。

澤井会長 プラチナ音楽祭やアマチュア楽団以外でミュージアを利用する機会はあるか？
事務局 議題資料3をご覧ください。ミュージアの日、市民合唱祭、市民交響楽祭、市民吹奏楽祭などを開催している。

澤井会長 こういう機会をもっと広げてほしいという要望だ。

高田委員 2団体を書類選考ではじいた理由は。

事務局 一つが期限切れ、もう一つが市内活動実績の要件が満たされていなかった。

高田委員 大きく増えるわけではない。非常に難しい課題だと思う。貴重な団体なので、理由を知りたかった。

犬飼委員 演奏時間も考えるとどのくらいの団体が参加可能か。

事務局 今でも10時スタートの過密スケジュールで、出演団体を増やすのは難しいかと思う。1日開催であれば、今の団体数が限界かと思う。

犬飼委員 応募団体を増やす 発表団体は増やさない

林委員 増えたらコンペティションをすればいいのでは。

澤井会長 当日は次から次へという感じだった。評価の理由、提言で気になるところはないか。スポンサーの獲得の可能性はどうか。福祉関係に働きかけることになるのか。

事務局 福祉関係もあるだろうが、高齢者をターゲットにしているお店やデパートが考えられる。

林委員 予算が厳しいから？

事務局 予算はシーリングがかかっているが、厳しいというものではない。こうした事業費の大半を市が負担するのではなく、広く資金を集めるのが全市的な流れになっている。具体的には、パンフレットに広告を出して、その分、印刷費を浮かせるなど。

林委員 広告を集めると、告知にもなる。

事務局 プラチナファッションショーでは、広告費のみでパンフレットを製作している。化粧品、高齢者向けの衣装レンタル、セレモニアなど。

澤井会長 福祉施設の招待やスポンサーの獲得のことも書いてあるので、福祉関係の方とも意見交換をしていただき、可能性を詰めていただき、こういう表現でいいか、お知らせいただきたい。こちらの思い込みだけで動いてもいけない。

議題2

澤井会長 続いて、議題2平成27年度文化アセスメントの報告書のうち、日本民家

園について説明をお願いしたい。

事務局

現地視察やヒアリングを踏まえて、評価書のたたき台を作成した。

議題資料1-1の調査・評価シートについて、(1)事業の目的の「設定の妥当性」について、評価「3」とした。日本民家園は、市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するために設置され、「日本民家園の使命」で4つの方針を掲げ、古民家を移築復原し、保存するだけでなく、古民家・伝統的生活文化の展示・普及啓発し、生涯学習やくつろぎの場としての面も持たせるなど、様々な活用が目指されており、目的等の設定は妥当と判断した。

次に「達成度」について、評価「3」とした。国指定重要文化財7件を始め、25件の古民家があり、維持管理状態も良好であること、企画展のほか、教育普及活動として、多世代が楽しめる様々な講座や催しを開催し、施設の活用が図られていること、入園者数は平成26年度には平成最多となり、入園者の世代や来園目的も幅広くなっている。一方、イベント時の入園者数がキャパシティ限界に達していることから、どのような方針でどの程度の入園者数を想定するか、運営の戦略を検討する必要がある。

次に「達成手段の妥当性」について、評価「3」とした。良好な建物の維持管理、ボランティアや指定管理者と連携した運営、伝統文化や風習に親しむ催し等の取組により、入園者数の増加につながっている。一方、「人形浄瑠璃」などの質の高い催し物は、複数回開催することで、魅力の向上、入園者の分散化等につながるため、検討の余地がある。

次に、(2)文化芸術性の「独創性」について、評価「3」とした。日本有数の規模の民家園であることに加え、「人形浄瑠璃」、「歌舞伎」などは、有形民俗文化財と無形民俗文化財の保存と活用が実現され、魅力が高い。一方、生田緑地内で実施されている他のイベントとの間で、実施時間帯の調整や広報、イベント企画面での更なる連携や調整が必要である。

次に、「育成支援」について、評価「3」とした。芸術家の育成を目的とした施設ではないが、わら細工、竹細工などの体験講座、むかし遊び、囲炉裏など、子どもから大人まで楽しめる体験型の催しを開催し、生涯学習の場を提供している。

次に、(3)市民の「参加」について、評価「3」とした。市民活動団体「民具製作技術保存会」、「炉端の会」が様々な側面から民家園をサポートしており、新会員のためのボランティア育成講座が毎年開催されている。また、英語HP、9カ国の外国語パンフレット、英語ガイドなど、外国人への配慮がなされている。一方、ボランティアの活動時間外の入園者への対応が手薄になっているため、活動時間の柔軟化などをボランティアグループと検討する必要がある。また、外国語アンケートやパンフレットについて、わかりやすさ、親切さという視点から、設置場所や設置方法に工夫の余地がある。

次に、「満足度」について、評価「3」とした。来園者アンケート満足度は、毎年90%を上回っており、施設や催し物に対する満足度は高い。一方、キャ

パシティの限界に近い日もあるため、地域住民や地域の子どもたちとの関係を重視しながら、来園者の満足度を高める観光戦略を検討する必要がある。

次に、「周知度」について、評価「3」とした。来園者の年代、地域は幅広く、写真撮影や絵描きなど来園目的も様々であり、幅広い層に浸透している。

次に、「効率・効果」の「波及効果」について、評価「3」とした。受講者アンケートの満足度は9割程度であり、伝統文化や芸能に対する理解につながっている。また、ボランティア炉端の会に対する視察、屋根の葺き替え、古民家の耐震化に対する問合せが多く、先進事例として他館の参考となっている。一方、園内の店舗が開園時間中の午後3時に閉店となり、また、生田緑地内でも食事を提供する店、持ち込んで食べられる場所が少ないため、観光振興の面で改善の余地がある。

次に、「施設等の利用管理」について、評価「3」とした。前述のとおり、施設の維持管理や活用、ボランティア人材の活用は適切に行われている。一方、施設について、雨の日に園路がぬかるむため、民家園の景観を守りながら改善を行う必要がある。また、民家園の施設ではないが、生田緑地の駐車場について、休日は午前中に満車となり、来訪者増加を目指すにあたっての課題となっている。

次に、連携協働について、評価「4」とした。前述の2団体が民家園の運営を支えており、連携・協働が実現されている。

次に、費用の効率化について、評価「3」とした。施設の維持管理やイベント、案内には費用が掛かるが、ボランティア団体や大学と協働しながら開催しているため、運営コストの低廉化が図られている。

続いて、課題資料2-2の評価書について、前述のとおり、かなり高いレベルでの運営が行われているが、改善の余地もあるため、総合評価は「B」とした。

提言は5項目を挙げた。1つ目は来園者の満足度を高める運営の戦略を検討する必要があること、2つ目は外国人の視点から更に改善が求められること、3つ目は生田緑地の駐車場の土日祝日の満車状態への対応策を検討していくこと、4つ目はボランティアの活動時間の柔軟化など、連携をさらに進展させることが望まれること、5つ目は観光振興や地域活性化につながるよう、施設の充実や地域と連携した取組を進める必要があることとした。

澤井議長
藤嶋委員

それでは、委員から質問等があればお願いしたい。

昨日も岡本太郎美術館の会議の前に行ったが、元々は古民家を保存する施設で、その維持に力を入れなければならない。岡本太郎美術館は鉄道展を開催していて、鉄道ファンを含めてお客さんが入っていたが、民家園は季節にあったイベントを実施し、昔の生活を想像できればよく、入場者数を競う必要はないのではないか

澤井議長
林委員

博物館法の博物館という視点からすると当然ですね。

週末は混在している、平日の人は少なく、週末と平日とのギャップが凄い。

イベントの集客はこれ以上する必要はないと思う。平日の昼間に、近隣の方、退職された方にグループで来てもらう企画をしてもいいのでは。

近くに食べ物屋さんがないのは問題なので、イベントの時は業者を入れて人数分を用意すべき。お蕎麦屋はテナントなのか？

事務局 行政財産の目的外使用許可で業者が営業している。

林委員 週末だけでよいので、お茶を出している所で軽食を提供した方がよい。

お店だけでなく、催しも3時過ぎから片付け始めている。ボランティアなので言いづらいかもしれないが、相談してほしい。博物館なので、閉館時間までやらないとまずいと思う。素晴らしい財産だと思う。

澤井会長 民家園の目的は、古民家を通じて日本の伝統文化を伝えること。提言に書いてあるような、満足度とか親切という表現だけでなく、東京オリンピックを契機に日本の伝統文化や生活の普及、理解促進という点からのイベントを組んでいただきたい。来園者の満足度だけだと、エンターテイメント的な機能が強くなってしまう。(2)文化芸術性に書いてある内容を広く普及してもらうことが民家園の役割だと思う。来園者の満足度もそのような伝統文化の理解促進で満足度を高めてもらいたいし、外国人にも理解促進してもらいたい。入園者の満足度や入園者数だけの議論だけはよくない。

垣内副会長 資料2-1について、「3」評価が多く、プラチナと比較しても厳しい感じ。例えば、(3)市民の満足度は90%を超えており「4」でよいのでは。(2)育成支援はあれだけのことを年間を通じて、熟練ボランティアが実施しているので「4」でもよい。(4)費用の効率化も、屋根の火入れを始めボランティアがいなければあれ程の手入れはできないので「4」と思う。

高田委員 同感だ。たたき台ということで遠慮があったのかもしれないが、もう少し見てもいい。

澤井議長 それでは、そういう方向で検討してほしい。

関委員 昔遊びなどのイベントは毎日やっている訳ではないので、イベントの期間中は時間がもう少しあるとよい。本当にいい施設・所だと思う。平日に市民の皆さんが、気軽に入っていける憩いの場になればよいと思う。そのためにはどうすればよいか。

岩田委員 日本有数の財産を活用する為に、発信力を高め、50周年を迎えて話題作りも必要だと思う。民家園で写真撮影や絵を描く人も目立ち、これらの作品を公募、選考し、HP上や民家園美術展として、現場で作品展示する等、発表の場を提供する事も考えられるのではないかな。

澤井議長 1967年開園なので、来年が50周年になる。50周年を契機に、市内外への情報発信を強化するという事だね。

岩田委員 ホームページのアクセスも増えている。

関委員 川崎文化会議という市民団体が《古民家を詠う》《民家園を撮る》というイベントを10年前に実施し、とてもいい作品ができた。アメリカの演出家を13年ほど前に民家園を案内した時、彼から「5年ほど前に東京江戸博物館

に行き、川崎の民家園のことを聴いたとき、説明員から川崎の民家園は閉園した」と言われ、情報の出し方、その範囲の狭さにがっかりした。その頃に比べると近年の民家園の評判や感心は大きな違いを見せている。

澤井議長 民家園でも50周年に向けて何か考えていると思う。我々としては、その背中を押す意味で、内外への情報発信を強化するとすればいいのでは。

高田委員 ボランティア応募の実態は？

事務局 昨年度の実績は、全4回のコースで24人の応募があった。

高田委員 ボランティア集めは苦労しているのか

事務局 24人の応募は多い方だと思う。

藤嶋委員 民家園のボランティアと三溪園のボランティアを両方やっている人に聞いた。三溪園は100人くらい登録。曜日で出勤表を作って回している。

高田委員 あまり苦労がない？

藤嶋委員 団体が来たときは大変だが、それ以外はそうでもないとのこと。

関委員 毎年、市民活動センターを中心にした市民活動の交流イベントが開かれいつも「炉端の会」もコーナーを設けている。約270人の会員がいて、生き生きと活動している姿が伺えます。自然の物を使った物作り活動もしている。ボランティア活動は旨く回っていると思う。

藤嶋委員 ボランティアの方は頑張っているが、学芸員の顔が見えない。

澤井会長 ボランティアと学芸員の微妙な関係があるかもしれないが、ボランティアは大変よくやっている。

高田委員 運営、費用低廉化の面で大事な存在だ。

澤井会長 ボランティアがこれだけ活躍しているのは、他のミュージアムと違うところ。

垣内副会長 生田緑地には、大小さまざまボランティアがあり、皆生田緑地を守っているという自負がある。その利害調整は大変だが、逆に言うと当事者意識を持っている。炉端の会は毎日、火入れをしているが、大変なこと。その他にも保存会がイベント企画をしており、うまく役割分担している。

澤井会長 ボランティアがより回るように、ボランティアの活動支援やコミュニケーションや意思疎通を進めるように、という表現を加えてほしい。

垣内副会長 指定管理者が協議会を設置し、地元の方やボランティアが意思疎通している。色々なことをやっているようだが、ボランティアが中核となってもうまくいっている。人材育成もそれぞれの会で実施している。

澤井会長 これまでの意見を受けて、事務局と私で修文し、再び皆さんに確認してもらいたい。市長報告は10月頃なので、それまでに意見の擦り合わせをしたい。

議題3

澤井議長 続いて、議題3平成28年度文化アセスメント対象事業について説明をお

願いたい。

事務局 議題資料3をご覧いただきたい。表面は前回会議で提示した7事業をそのまま掲載している。裏面では、今回新たに4事業を追加した。

はじめに、「映像のまち・かわさき」推進フォーラムの取組については、「人材育成」として、子どもたちの映像づくりサポートと映像関連人材の育成に向けた支援、「地域連携・活性化」として、映像を使った地域イベントの開催・協力支援、まちづくりの活性化に向けたネットワークづくり、「情報発信・収集」として、市内の映像・ロケに関する情報発信、映像のまちづくりのための情報収集を実施している。

次に、大山街道ふるさと館管理運営事業については、溝口の大山街道沿いにある施設で、大山街道に関する歴史・民俗資料等の展示、大山街道に関する地域の文化活動への支援や地域団体と連携した大山街道の魅力を発信する取組の推進をしている。

次に、橘樹官衙遺跡群保存整備・活用事業については、平成27年3月に市内初の国史跡に指定された「橘樹官衙遺跡群」の活用を進めている。27年度にシンポジウム、スタンプラリー、展示などの指定記念事業が多く実施され、28年度は少なくなっているが、いくつかのイベントや展示が予定されている。

次に、高津区ふるさとアーカイブ事業については、平成24年4月に高津区區制40周年を迎えたことを記念してスタートした事業で、区の歴史を物語る写真資料等の収集を開始し、さまざまな活動で古写真を活用し、楽しむことができるよう、平成26年4月からデジタルアーカイブを整備し、ホームページで写真資料を公開している。

澤井会長 「映像のまち・かわさき」は、前にやったのとどう違うのか
事務局 前にアセスを実施したのはしんゆり映画祭で、新百合ヶ丘駅周辺のアートセンターなどで映画を上映する。広い意味では映像のまちだが、しんゆり映画祭実行委員会が主体であるが、こちらは産業振興会館に事務所を構える「映像のまち・かわさき」推進フォーラムが担っており、さらにその業務をNPO法人かわさきMOVEART応援隊が受託している。場所的には全市展開しており、小中学校、地域の寺小屋で映像リテラシーの事業を実施している。

澤井会長 アートセンター以外の場所で実施しているのか。

事務局 アートセンターは逆にあまり関わりがない。

林委員 フォーラムの運営主体は民間なのか。

事務局 会長が川崎商工会議所の山田会頭、映像産業関係者、映画大学などで構成され、その運営経費を市から補助金で支出している。

高田委員 いつからあるのか。

事務局 今年で8年目（平成20年7月設立）。

澤井会長 5番のミューザを選ぶなら、1つに絞る必要がある。

事務局 フェスタサマーミューザは、先週の土曜日から始まっている。

澤井会長　かわさきジャズの場合はいろいろあるのか。
事務局　全市展開している。

澤井会長　市長が変わって、モントルーから変わったのか。
事務局　市長が変わってというわけではない。モントルーからステージアップして、昨年度から始まった。

小嶋委員　モントルーからかわさきジャズに変わり、試行錯誤しながらよくなっていく感じもある。今年、見てもらってもよいし、定着してからでもよい。若い人にも来てもらう宣伝をされていて、変わってきている。今、見てもらうのもすごくよい。

澤井会長　日本映画大学はどこにあるのか
事務局　麻生区白山と新百合ヶ丘駅前。白山は廃校になった小学校を買い取ってもらってリノベーションした。

林委員　生徒数は？
事務局　定員120名。映画作りにこだわり、1年生はフィルムで映画を作成し、今村イズムをきちんと学ぶのが最初の入口となっている。

澤井会長　サマーミュージアムのチラシも凄い。最響という字を思いついた人は凄い。
関委員　満足度98%は凄い。

澤井会長　時期が迫っている。
事務局　これだけの演奏は、なかなか聴けない
林委員　リーズナブルだ。

関委員　7月1日の「2016年ミューザの日」事業も終わった。

高田委員　橘樹官衙遺跡群保存整備・活用事業は、どういう人たちが実行部隊か。
事務局　文化財課が主催で、今回の国指定は、橘官衙と影向寺で、影向寺はボランティアグループが何十年もあり、橘官衙の方はこれからだと思う。

林委員　アートガーデンかわさきは、前に似たようなものをやらなかったか。
事務局　東海道かわさき宿交流館と思われる。交流館の中にギャラリーがある。
林委員　アートガーデンは、市民の発表の場か？
事務局　貸館がメイン。

犬飼委員　企画展は年何回か。
事務局　アンデパンダン展を含め、年数回開催している。

岩田委員　8,400万円の予算は何に使っているのか
事務局　駅前の1等地の民間ビルを借りているため、賃料や共益費等がほとんど。
澤井会長　できれば音楽から決めて行こう。ジャズ 高津区 音楽以外から2つでも
関委員　興味があるのは、多摩区のプラネタリウムステージを活かした音楽祭。
垣内副会長　青少年科学館のプラネタリウムで実施している。小さなホールだが、そこでトリオやカルテットをしている。

澤井会長　演奏者はどの程度の人が出ているのか。
事務局　ストリートミュージシャンなど。

藤嶋委員　「映像のまち」は難しいか。

澤井会長 イベントがたくさんあるので分散すれば可能かと思う。

藤嶋委員 橘樹官衙遺跡群は面白そう。

澤井会長 場所はどの辺か。遺跡自体は見られるのか。

事務局 場所は高津区で、宮前区も一部入っている。一部公園化しているが、埋め立て保存しており、芝生広場になっている。

林委員 再建しているのか、三内丸山遺跡みたいに。

事務局 影向寺は残っている。国史跡に含まれている。

澤井会長 評価は難しいかもしれない。かわさきジャズは、もう少し様子を見た方がいいか。

小嶋委員 ぜひ、小中学校など地域連携もしている。

事務局 先行して9月からのジャズ・アカデミーという講座が始まる。CDジャケットのデザインの人を呼んで話を聞く。今までは、ミュージシャンの講座が多かったが、いつもとは違う切り口となっている。

澤井会長 アカデミーは、すべて講演か。実演もあるのか。

事務局 基本は講義だが、実演を少しやる方もいる。いつも満員になる。

澤井会長 そろそろ絞り込みをしたい。一人ずつご意見をいただきたい。

犬飼委員 かわさきジャズ。

岩田委員 川崎市は「映像のまち」を掲げているので。

小嶋委員 映像に興味がある。かわさきジャズ、もうちょっと待ってくださいと言ったが、さらによくするために、今でもいい。

垣内副会長 「映像のまち」。

関委員 星空の下での音楽まつりと映像のまち事業。

高田委員 全体を見て映像のまち。7億円を使っているミュージアム、8千4百万円を使っているアートガーデンを見たいというものもある。

関委員 アートガーデンは貸ギャラリーが主体で主催事業は少ないのでは？ 人件費なども財団の予算も入っているのか？

事務局 市の補助金で運営されている。

林委員 予算が大きいところはインパクトがあるので、音楽はミュージアム。
大山街道ふるさと館は興味あるが、東海道のかわさき宿交流館と似ている。私の専門で言うとアートガーデン。以前に見た市民ミュージアムの市民芸術祭も課題があった。課題がありそうなところにアドバイスできればと思う。

藤嶋委員 映像のまちづくりは、どうやっているのか興味がある。橘樹官衙は、都会でまちづくりをどうやっていけるのか興味がある。

澤井会長 音楽関係は。

藤嶋委員 音楽はミュージアム

澤井会長 割れたが、音楽関係はジャズ、ミュージアム、星空。非音楽は、映像が多かった。アートガーデンが2人。橘樹官衙もあった。

高田委員 橘樹官衙の国指定が昨年であれば、今回は外していいのでは。ローカルな高津区、幸区は元気。川崎区はどうしているのか。ローカルな地域振興課が

旗を振っているところは外したい。

- 澤井会長 橘樹官衙を時期尚早とすると、映像かアートガーデンになる。
- 関委員 アートガーデン自体の主催事業であるアンデパンダン展はすでに終わっている。
- 澤井会長 アートガーデンの論評は難しい。文化財団の評価になる。
音楽以外で絞ると映像のまちかわさきになるが、異論はないか。
川崎の看板でもあるので、大学ができてからは行っていないので、話しを聞いてもいい。
- 林委員 場所は、川崎市全体でやっているのか。
- 事務局 全市展開している。学校は平中、玉川中など。全体交流会は川崎フロンティアビル。毎日映画コンクールはミューザ。フェスティバルは、アトレ椿広場で開催する。あさってから公開のゴジラのPRをフォーラムが行っている。
- 澤井会長 映像のまちでよいか。
もう1つは、ジャズか星空。シンフォニーホールに正式に取り組むのはもうちょっと準備が必要と思う。
- 林委員 ジャズでもよい。ただ、2年目の事業。
- 澤井会長 かわさき・ジャズでよいか。
- 事務局 小嶋先生は、評価者と主催者という立場になるが、それでよければ。
- 小嶋委員 私は、「映像のまち」の評価にだけ加わるのでよい。
- 澤井会長 小嶋先生の扱いについては、迷惑がかからないよう検討することとし、そのときには、再度相談する。異論がなければ、かわさきジャズと映像のまちかわさき推進フォーラムとしたい。年度が進んでいるので、事務局で視察対象のイベントを選び、日程調整をしてもらいたい。

その他

- 澤井会長 予定されていた議題は以上だが、事務局から何かあれば。
- 事務局 参考資料5の川崎版文化プログラムについて、国の文化プログラムと歩調を合わせて実施する。大きな柱として、「障害者の文化芸術活動への支援を核とした新しい共生社会の創造」、「英国との文化交流を核としたプログラムの展開」、「川崎の文化の推進による魅力の発信」、「文化施設を核とした魅力発信と回遊性の向上」を掲げている。
参考資料6の小黒恵子童謡記念館について、小黒恵子氏の財産を市に寄贈され、来年4月に再開館する予定となっている。次回、状況を報告させていただき、アドバイスをいただければと思っている。小黒恵子氏の童謡のCDを地域の合唱団や学校の協力を得て制作しており、盛り上がっている。
- 林委員 指定管理か。
- 事務局 普通財産の貸付を行う。
- 林委員 指定管理との違いは。

事務局 市民から寄付を受けた施設を貸し出し、条件を付けて運営してもらおう。
契約期間は5年で、この月曜から募集を開始している。

藤嶋委員 事業者は営業するのか。

事務局 営業はできるが、童謡普及をメインに運営してもらおう。

林委員 2年間アドバイスをした、府中市の武者小路実篤記念館に似ている。是非、
見てもらいたい。若い人が武者小路実篤を知らないのが課題。いかに現代に
伝えていくか、アドバイスしたことがある。